



1. ノボタン 2. 色とりどりの熱帯魚 3. イボイモリ (絶滅危惧種) 4. ザトウクジラ (12月～3月)
5. ケラマツツジ (1月～3月) 6. リュウキュウヤマガメ (天然記念物) 7. サンゴの産卵 (6月の大潮) 8. カンヒザクラ (1月～2月)

Nature

大自然が織りなす 生命の鼓動

平成 26 年 3 月 5 日「サンゴの日」に慶良間諸島が、全国 31 番目の国立公園に指定されました。
 渡嘉敷島は「ケラマブルー」と呼ばれる透明度の高い海やサンゴ礁が高密度に分布し、色とりどりの熱帯魚が群れ泳いでいます。12 月から 3 月にかけて、繁殖のためにザトウクジラが回遊し、その雄大な姿を島の同近で見ることができます。
 また、イタジイを中心とした緑豊かな植物が茂り、天然記念物のリュウキュウヤマガメやイボイモリなどの貴重な生物が多数生息しています。1 月には桜が開花し、その後初夏に向けてケラマツツジやノボタンなど、1 年をとおして山の自然を楽しむことができます。
 ここ渡嘉敷島は世界に誇れる自然の中で、生命の鼓動をたっぷりと体感できる場所です。

ウミガメに出会う島

渡嘉志久ビーチの楽しみの 1 つは、ウミガメに出あえること。ここには野生のウミガメの餌場があり、常時数匹のウミガメが住み着いています。
 運が良ければ、スノーケル中に一緒に泳げたり、カヌーの横にひょいっと顔を出し、パアッと息をする野生のウミガメを観察することができます。
 マリンブルーの海の中を、ゆったりと泳ぐウミガメを探してみましょ。

